１．件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（２号機燃料取扱設備及び燃料取り出し用構台の設置）に係る面談
２．日時：令和３年５月２８日（金）１５時００分～１６時５５分
３．場所：原子力規制庁　１８階会議室
４．出席者
原子力規制庁　原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官
髙木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社　福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所　担当６名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨
〇東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（２号機燃料取扱設備及び燃料取り出し用構台の設置）について、資料に基づき主に以下の説明があった。
- 原子力規制庁からのコメントへの回答
  - ✓ 移送操作中の燃料集合体の落下時の影響評価
  - ✓ 燃料取扱設備の監視・制御装置の多重化・多様化
  - ✓ 燃料取り出し用構台作業フロアの雰囲気線量の計画値
  - ✓ 換気設備の風量調整方法
  - ✓ ２号機燃料取り出しに係る実施体制
  - ✓ 原子炉建屋オペレーティングフロア床面に設置する遮蔽体の耐震性

〇原子力規制庁は、移送操作中の燃料集合体の落下時の影響評価について、現在の２号機の燃料の冷却やプール内の配置等の状況を踏まえた現実的な評価となるよう考え方を整理の上、改めて説明することを求めた。

６．その他
資料：
- ２号機燃料取扱設備及び燃料取り出し用構台の設置について
  - ✓ 添付資料４　原子炉建屋オペレーティングフロア床面に設置する遮蔽体の耐震性についての計算書
  - ✓ 添付資料６　移送操作中の燃料集合体の落下